

科目名 Course Name	ゼミナールⅣ(編入) Seminar Ⅳ				ナンバリング No.	A4-003	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	松崎 勇人						
連絡方法	C-Learning で対応。または、本館2階研究室、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP3						
授業の概要と到達目標	<p>日本大学等に編入するために必要となる知識・技能・思考力を高めるために、どのような学習スキルが必要かを考え、学習スキルを身に付ける。</p> <p>①受験科目ごとに必要な学習方法が使えるようにする。</p> <p>②自己の学習に関する強さと弱さを評価して、学習スキル(学習方法)を高めることができるようにする。</p>						
授業の方法	個人で学習計画を立てて実行し反省するという過程と、それについて小グループで話し合いを持ち、助言し合うという演習形式で行う。その中で具体的学習スキルを伝授していく。						
学習成果	L01	学習計画を立て、実行し、反省し、修正して、受験科目の成績を上げることができる。					
	L02	自己の得意な学習スキルを教え、自己の弱い学習スキルを身に付けられる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題は講義中に返却し、コメントを加える。						
教科書/参考図書	特になし。必要に応じて自作プリントを配布する。						
履修上の留意点やルール等	極力休まないこと。学習計画を立て実行し、進んでモニタリングすること。積極的に話し合いに参加し教えあうこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準としては、課題を行った上で与えられたテーマについて、仲間の意見を聞いて取り入れ、自分の意見を述べ相手に教えることができる。		40		
レポート/作品	20点満点の課題を三つ行うこと。学習計画を立て、実施の記録を取り、反省して変えていくことが出来ているかを評価する。	60			
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合 計		60	40		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション
	事前・事後学習	編入希望大学の試験科目の得点を上げる計画を立てる。
2	授業内容	得点力を上げるために必要なこと(学習前、学習中、学習後)
	事前・事後学習	どのように学習に取り組めば、最も効果が上がるかを理解する。
3	授業内容	学習前にすべきこと(計画においてチェックすべきこと)。課題 1(編入試験科目の学習計画を作る)
	事前・事後学習	課題 1 を行う。
4	授業内容	学習中にすべきこと(モニタリングにおいてチェックすべきこと)。モニタリングシートの使い方。課題 1 の途中報告と話し合い。課題 2(学習モニタリングシートを付ける)
	事前・事後学習	課題 1 をより良いものに変える。モニタリングシートに、学習の記録を付ける。
5	授業内容	学習後にすべきこと(自己評価においてチェックすべきこと)。自己評価シートの使い方。課題 1 の提出締切。モニタリングの仕方についての話し合い。課題 3(編入試験科目得点の自己評価シートを付ける)
	事前・事後学習	モニタリングシートに、学習の記録を付ける。モニタリング活動を改善する。
6	授業内容	小論文を書くスキル。どのように考えるかについて話し合い。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
7	授業内容	個人面接のスキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
8	授業内容	専門試験(英語)に関わる学習スキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
9	授業内容	専門試験(経済学)に関わる学習スキル。演習問題を解く。モニタリング活動の途中経過発表。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
10	授業内容	専門試験(その他)に関わる学習スキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
11	授業内容	小論文試験についての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
12	授業内容	面接試験についての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
13	授業内容	口頭試問についての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
14	授業内容	専門試験についての話し合い。課題 2 の提出締切。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
15	授業内容	進学後の計画立案。課題 3 の提出締切。
	事前・事後学習	進学後の学習計画を御立てて実行しモニタリングし、ゼミナールⅣの課題3として提出する。